

一橋 三朗一

# 企業魂

## 歴史に人あり 人に志あり 企業に魂あり

# 2014年 軍師官兵衛と戦国群雄譚

『易経』に「雲は龍に従い、風は虎に従う」とある。昔、中国では天の時を得た名君が現れると、必ずそれを補佐する賢臣が現れるものとされた。武王には太公望という名軍師が、桓公には管仲という名宰相が登場して二人の天下取りを後押しした。劉邦の張良、劉備玄德の諸葛孔明もまたしかりである。軍師は雲になって名君を天に昇らせ、また風になって主君を中原に躍り出させている。

全国の群雄、英傑たちが覇を競い合った日本の戦国時代も同じだった。豪剣で名をあげ、武功を立てる勇将、猛将の傍ら、持ち前の知力をもって主君を助ける者がいた。その明晰な頭脳で、あるときは戦場で、またあるときは交渉の場で能力を発揮し、自軍を勝利に導いたのである。豊臣秀吉の天下統一はまさにその典型だった。

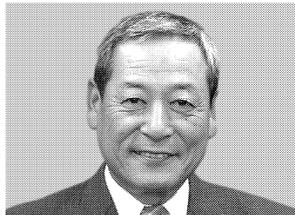
竹中半兵衛、黒田官兵衛は「秀吉の二兵衛」と称され、行く先々の戦いで知略を巡らせ敵軍を圧倒した。半兵衛は弱冠二十一歳で稲葉山をわずかの手勢で攻略。その類い稀なる才能を秀吉のもとで開花させた。和製孔明。片や官兵衛は播州の小大名の家老職に過ぎなかったが、秀吉の器量に惚れ込み全身全霊で仕えた。あらゆる局面で織りなす知謀と作戦こそが、秀吉の天下人への道を切り拓いた最大要因である。

織田信長や上杉謙信のように自らの経験と勘で軍を動かした武将もいたが、武田信玄や徳川家康、伊達政宗ら、名立たる武将にはそれぞれ名軍師、懐刀と呼ばれる人材がいたのも事実だ。現代を生き、未来を見据える企業にとっても、それを支える人材力が成長の根幹となることに異論はない。



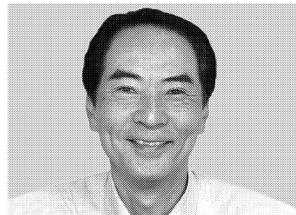
**(株)リアライズ**  
代表取締役 橋本 晋一氏  
東京都千代田区豊台2-3-2

豊田秀吉は豊臣政権の柱として秀吉を陰で支えた功勞最大の名補佐役。また足輕組頭にして分となった。以後、秀吉の右腕としてあらゆる戦場を駆け抜け、名代の任を完璧に全うした。性格も温厚篤実で、豊臣家中の心を魅きつづけて、豊臣家創業以来一貫して豊臣オフィス仲介に特化、借り手と貸し手の名代の任を全うするプロ集団。中継業務を情報産業と捉え、物件情報の量と質にこだわって随時約5万棟のビル情報を保有。各テナントへのキメ細かなサービスに定評があり、ビルオーナーからの信頼も厚い。信頼度No.1企業に向け、着実に伸展している。



**(株)東光システムサービス**  
代表取締役 小林 俊夫氏  
東京都品川区西中延1-9-4

蜂須賀正勝は水川川などの水運で利益を得ていた川並衆の一つ。蜂須賀の頭目。若き藤吉郎(秀吉)の躍進を支えた重臣であり、竹中半兵衛、黒田官兵衛を得るまでは秀吉の軍師として外交、交渉の面でも手腕を発揮した。備中高松城水攻めの際も染堀奉行の難役を勤め上げている。ANAグループが所有する航空機の安全航行を地上支援している緑の下の力持ち。客室清掃業務から污水交換業務、給排水業務までを担当し、寸分のミスも許されない厳しい業務を全従業員が一体となって日々遂行している。羽田空港と地方空港を、また国際空港とを結ぶ架け橋として、より快適な空の旅を担保。



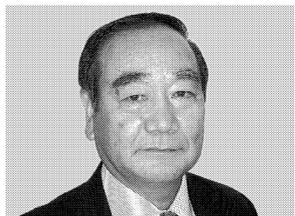
**(株)ボンパドウル**  
代表取締役社長 三藤 達男氏  
神奈川県横浜市元町4-171

後藤又兵衛は黒田八虎の一人にして槍の名手。朝鮮出兵では「鶴甲軍」(表甲軍)を作って朝鮮軍の城壁を突き崩した。官兵衛が死んで嫡男長政に代わりすると一万余石を捨てて出奔。大坂の陣では豊臣方に参り、真田幸村と並んで鳥合の衆が多かった味方の中で奮闘した傑出した。二店舗一工房にこだわり、焼きだて、豊富な品揃えのパンで、誰も追いついてこれない世界を創りあげている。横浜元町を基点に今や全国区へのベカリとして展開。まさにパンづくりの名手企業だ。中でも極上のフランスパンは本場と優るとも劣らない美味しさで、全国のパン通、パンファンを唸らせている。



**(株)城南建材社**  
代表取締役社長 鬼丸 卓哉氏  
東京都世田谷区喜多見3-1-1

佐竹義宣は家康の力量を十分承知しながら、三成への義理立てから旗幟を鮮明にした。このため戦後、常陸から秋田への領地替えとなる「北の国に新しい軍袋を作ろう」と、重臣、功臣も区別せず、新しい国づくりに向け人選し新たな一歩を踏み出す。建設機械と仮設資材のレンタルを両輪に、幅広いラインナップで建設業界に貢献。常に新しい機械を取り揃える企業努力と、豊富な経験に基づいた万全の整備体制で顧客の要望に応えてきた。同社の工場・モータープールを機械置場、仮設資材置場として利用することを提唱し、新しい軍袋を作るべく研鑽に努める。



**(株)ウイッツ インテグレーション**  
代表取締役社長 赤木 健氏  
東京都葛飾区東池袋3-4-3

前田慶次は加賀前田家の一族でありながら連なるを長しとせず、一匹狼として各地に出没し功名を轟かせた。腹心の強者たるの男を引き連れ、荒馬松風を手なづけて、よく衆を蹴散らす。その戦力は超人的、兵一に値すと恐れられたほどの、豪気な傾奇者で美事な戦いぶりだった。大手コンサルティング会社に属せず、個人の武勇(技術力)と人望で独自の信用力を発揮している経営者派企業。大手には真似できない経営&ITに関するトータルソリューションが好評だ。ERPパッケージ導入・構築からSaaSサービス、経営参謀支援サービスまで、小さくてもキラリと光る企業姿勢を貫いている。



**木寅 税務会計事務所**  
所長 木寅 雅之氏  
東京都渋谷区東3-16-5

京極高次は近江の名門、佐々木源氏の末流。関ヶ原合戦前後、西軍石田三成方に参陣する目せかけ一転、大津城に立て籠もった。西軍一万五千による猛攻にも、城兵わずか三千を以って本丸を残すのみとなるまで戦い抜いた。西軍を七日間大津に釘付けにした戦功は高く評価された。会社設立登記から税務、労務の顧問助成金の申請など、経営者の頼もしい援軍であり、その知略と行動力でビジネスの戦場、勇気と勝利を提供している。通算設立案件は既に150社を超え、かゆいところに手の届くキメ細かなサポートは折り紙付きだ。誠実で温かな表情と厳しいプロの目が光る多面性が魅力。



**(株)根上産業**  
代表取締役社長 根上 尚登氏  
埼玉県川越市駒場150-1

柴田勝家は織田軍団屈指の勇猛果敢な豪將であり、筆頭家老。六角氏と戦って長光寺城に籠城した際、飲料水を溜めた水瓶を叩き割って決死の覚悟を示したことから「瓶割り柴田」の異名をとった。秀吉と相容れず北ノ庄に果てたが武勇一筋、田利家ら部下にも慕われた好漢だ。品質と加工技術に定評があり、自動車用を中心としたエンジン・リアリング・プラスチック部品の製造・販売で実績豊富。国内トップレベルの工場設備を擁しており、近年は定期的な海外から研修生を受け入れるなどグローバル化にも積極的だ。同社を築く研修生を活用すべく、海外工場建設も視野に伸展を期す。



**(株)アイビーコア研究所**  
代表取締役 品川 雅之氏  
東京都杉並区荻窪5-21-26

真田昌幸は少年の頃から武田信玄に小姓として仕え、同僚の曾根内匠と共に信玄をして「わしの両眼の如し」と言わせた豪将。信玄、方村とも名だたる武將に育った。秀忠軍の西上を阻止した知略、軍略は、まさに昌幸の面目躍如たるどころだ。情報処理機器、通信機器を始めとする製品の開発ベンチャー。低消費電力技術と高信頼性技術に定評のあるところで、その消費電力当たりの性能世界No.1を開発目標とする。チャレンジ精神が同社の真骨頂だ。地球環境改善は天の時を得た事業領域であり、それに貢献するIoT機器の開発を目指し孤高の秀才である。



**コノコ医療電機(株)**  
代表取締役 堀部 朝樹氏  
東京都品川区西中延2-12-13

島左近は四万石の知行だった石田三成がその半分の二万石で召し抱えたほどの知勇兼備。一治部(三)に抱えられたのが二つあり、島左近と左近と山崎の城と謳われた。関ヶ原の決戦前日には、瀬川川対岸に宿営していた中村一栄隊に奇襲をかけて大勝利。西軍を鼓舞した勇將だ。「あなたと健康を」をスローガンに、独自の家庭用治療器の開発を続ける老舗企業。自社開発の治療器「シアン」は、皮膚感覚を刺激することにより、本人人間が持つ自然治癒力を強化する効果と評価も高い。痛みからの解放を願う人々にとっての、過ぎたるもの、となるべく、日々研鑽に余念がない。



**(株)日本システム研究所**  
代表取締役社長 松下 幸夫氏  
神奈川県横浜市東区小田5-11-21

藤堂高虎は数々の城の普請や東照宮の造営も手掛けた多才の大名。関ヶ原の戦い前後、いつ石田方へ寝返るかも知れない豊臣恩顧の大名の動向を清洲城にあって刻々と江戸へ報告した。城は徳川にありと読んだ先見こそ、武勇と併せて三二万四千石の大名となった根幹である。食品業界向け容器製造工程における全数検査システムの開発と、肌診断機の研究開発を柱に高い評価を得ているプロフェッショナル集団。1968年の設立以来、世に役立つものを「創る」という気概で多くの製品を開発してきた。斬新なアイデアを元にオリジナル製品群を送り出し、更なる飛躍を期している。



**カーデックス(株)**  
代表取締役 坂東 信弘氏  
東京都港区東麻布1-23-5

島津義隆は関ヶ原の中央突破で薩摩軍人の名を高らした馬場。義弘以下千余騎は旗幟を棄て馬場を斬り、喉を上げながら全軍一丸で東軍の真ん中に突き入った。敗走という印象を全く与えず、逆に勇名を馳せることとなった。この「島津の返り口」は豪胆な家風の真骨頂である。社員監査、診断書、会員登録などのIDカード自作作成を高らしている。エポスカードプリンタ日本正規代理店であり、QUANTUM Primary、Penius、QUANTUM SECURON、ニスに合わせた使用可能な世界最良のベストヒット製品を取り揃える。日本市場のど真ん中でも、その信用力や実績に揺るぎはない。



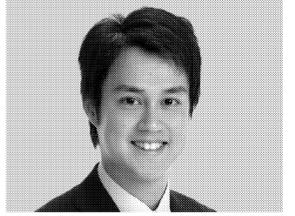
**(株)ゲットイット**  
代表取締役 廣田 優輝氏  
東京都中央区勝どき4-14-22

九鬼嘉隆は村上武吉の指揮する毛利艦隊になす術もなく敗れた信長が、「鉄胆の船を造れ」と白羽の矢を立てた海賊大名の雄。これを受け村上天に負けてはなるものか、得意の造船技術を駆使して巨大な軍艦を造った。日本の造船史上初の鉄甲船を誕生させた先駆者である。中古・再生の業務用IT機器の先駆企業。販売、レンタルから修理やデータ消去、買取まであらゆるニーズに応えている日本最大級の業界実力派だ。また、一方で貿易会社としての顔も持ち、ヨーロッパのキッチン用品の輸入、卸、トイザンタムラの販売など、既成概念に捉われない新しい21世紀型経営を推進中だ。



**(株)ヒュミニング**  
代表取締役 岡野 洋美氏  
東京都渋谷区渋谷3-5-16

まつは前田利家の正室で夫を支え、加賀百万石の礎を築いた賢夫人として芳名高い。利家が死去すると落飾し若き院と号したが、なお前田家を支え続けた。関ヶ原の合戦前に利長に謀反の疑いが生じると自ら進んで江戸へ下り、十五年間を江戸で過ごして徳川家との関係をより密接にした。少数者のチーム・組織への問題解決法を提供している賢夫人が如きの健康源。個人と組織の目標達成と行動を支援し、対話の場創りと対話の運営で創造性をあふれる豊かな未来の実現に貢献することを銘記。リフレクティングアプローチを始め、各種カスタマイズ研修やコンサルティングなど、人と企業を支えている。



**RAYE RED(株)**  
代表取締役 尾登 正幸氏  
神奈川県横浜市西区平町1-6-13

森蘭丸は気難しい信長をして「その目配り、気配りと知勇、十万石の器なり」と称賛された俊英。信長は蘭丸を片時も側から離さず、部將の配置から城づくり、敵將の性格分析まで指南していた。蘭丸もその期待に応え、兵法を学び古古典との教養も磨き、若ながら重きをなした。社内の組織や人材を様々な角度から分析する人事適性検査を軸に、企業内の人事における問題解決を支援している指南役。人事適性検査とはまだ耳慣れない言葉だが、企業は人であることに異論はないはずだ。同社は多方面から組織と人材を客観的に捉え、より良い関係を育むプロでありコンサルタントである。



**(株)デイティルクラウド クリエイティブ**  
代表取締役社長 南雲 宏明氏  
東京都渋谷区渋谷2-16-1

河尻秀隆は織田信長殺害の実行役以降、信長の側近となった。武略に優れた豪將の側近の戦功をあげ、信長から厚い信頼を受ける。異例というほどの立身出世を遂げ、羽柴秀吉に続く人物とまで評価された。武田勝頼が滅んだ後の甲斐で府中城主となり、信長の天下布武を世に示した。クラウドを中心とした総合インターネットサービス企業であり、業界初のSEO専用ソフトウェア「GeoMaster Professional」が顧客から厚い信頼を得ている。プロが行うと遜色ないレベルのSEOが可能とあって、同社の立身出世を後押しする商品となった。昨年末には新事務所に移転、社員も高まっている。



**(株)長谷川サービス**  
代表取締役 長谷川 久氏  
千葉県市川市二俣71-52

野口左助は母里大兵衛の義弟。障子岳城攻めでは槍一本で城を押さえたといわれるほどの遣い手だった。筑前入国後はその勇猛さを買われて強者揃いの百人組を束ねる鉄砲大頭を拝命。石垣普請にも長く、福岡築城に際しては普請奉行として穴太衆を指揮し手腕を振っている。Apple、Facebook、物流を得意分野とする運送会社。衣料運搬時の品質保持を考慮し、独自開発車両・オリジナル特殊ハンガー車を配備。スーツやドレス、高級服飾などを衣料をハンガーに吊るしたままでの輸送を可能とした。クオリティの高さを顧客に買われており、その地位を確固たるものとしている。